

### 第3学年社会科指導案

#### 1. 単元名 わたしたちのまち みんなのまち 2「市の様子」

#### 2. 単元について

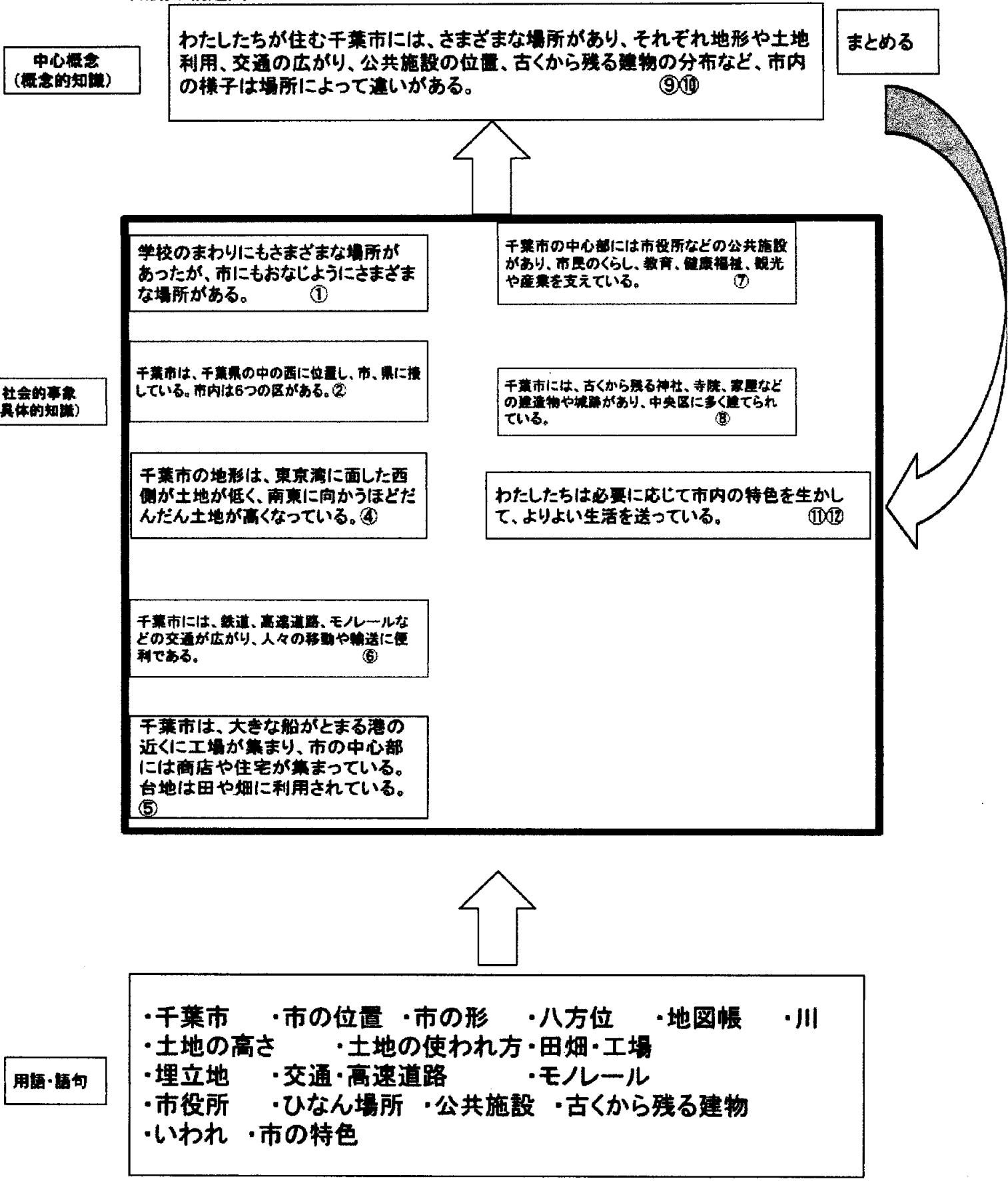
本単元は、学習指導要領の内容(1)「身近な地域や市区町村の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。」に位置付く。身近な地域や市の様子をおおまかに理解し、観察・調査したり、地図などの資料で調べたりして、それぞれの場所による違いを考えることが主な学習内容である。また、これらの指導を通して、方位や主な地図記号について理解し、活用できるようにすることもねらいとしている。

これまでに、子供達は、生活科において学区探検を通して、学校のまわりの様子について捉えた。方位の概念を獲得したり、高いところから学校の周りの様子を確認することで俯瞰的な物の見方をし、新しく社会科の視点から学校の周りの様子を捉える活動を行ってきた。本小単元では、学校の周りの様子から、市の様子へと展開し「土地の高さや広がり」「土地の使われ方」「交通の様子」などの視点ごとに調べ、学習を展開していく。市の様子を視点ごとに調べ、それらを重ね合わせて、広がり、時間、関係性など市の様子を大きく捉えられるようにしていきたい。視点に合わせて効果的に資料を活用することで、より市の土地の様子が理解できるだろうと考える。

そこで、本単元の学習を進める際には、GIGAスクール構想端末を用いて、児童それぞれが手元に自由に活用できる資料があるようにして学習を進めていく。1つ1つの資料から自分の気づきを自由に書き込んだり、友達からの発言を受けて書き加えていく活動を行うことで、より社会科で身に付けさせたい見方・考え方を深めることができるだろうと考えた。児童らの情報を活用する力が高まってくると、本単元で提示する「土地の高さや広がり」「土地の使われ方」「交通の様子」の資料を重ねて複合的な見方ができる児童が増えてくると予想される。1つの資料では分からなかったことも、複数の資料を重ねることで、新たな気づき生まれるという発見もねらいたい。

提示された資料の中でも見るべきことや、考えることの観点をはっきりとさせて提示することが大切だと考える。これまでの生活科などの学習との関連を図りながら、観察・見学、体験などの具体的な活動を大切にしていきたい。実物や本物を直接見たり触れたりすることで社会的事象を具体的、実感的にとらえ、納得して理解できるように学習を進めていく。また、これらの活動を通して、子供たちが自ら社会的事象に直接かかわって学ぶ、学び方を身に付けさせていきたい。

### 3. 知識の構造図



#### 4. 小単元の目標

市の様子について、都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図などの資料で調べ、まとめることで市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することを通して、自分たちの市の様子を大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。

#### 5. 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市の様子を理解している。	①都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見だし、市の様子について考え表現している。	①市の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことを白地図や文などにまとめ、市の様子を理解している。	②場所ごとの様子を比較したり土地利用の様子や交通などを関連づけたりして考え適切に表現している。	

#### 6. 小単元の指導計画（13時間扱い）

次	時配	児童の主な学習活動
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○航空写真を見て、気付いたことや、市の施設や様子でわかっていることを発表し合う。</li> <li>・西には海が広がっている。</li> <li>・東は田や畑が多い。</li> <li>・北西のほうは住宅などの建物がたくさんある。</li> </ul>
調べる	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市の地図や写真を見て、知っている場所を紹介し合う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">千葉市の土地はどのような様子になっているだろう。</div>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○つかむ→調べる→まとめる→いかすという学習の流れを確認する。</li> <li>○学習問題について、予想を立て、市の様子を調べる計画をたてる。</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市の土地の高さや広がりについて調べ、わかったことを発表し合う。</li> <li>・西は埋立地などの低い土地が広がっている。</li> <li>・東は台地などの高い土地になっている。</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市の交通の様子について調べ、わかったことを発表し合う。</li> <li>・北西には鉄道が多く通っている。</li> <li>・道路も同じように北西に多く伸びている。</li> </ul>

	6	○市の土地の使われ方について調べ、わかったことを発表し合う。 ・北西には住宅が集まっている。 ・海ぞいに工場が多い。 ・市の東は主に田畑になっている。
	7 本時	○千葉市の「土地の高さ」「交通の様子」「土地の使われ方」の資料を重ねて、土地の使われ方の気づきを深める。 ・土地の高さと店が集まっているところを重ねたら低い土地に店が集まっていることが分かった。 ・台地のような高いところには田畑が集まっている。
	8	○市の主な公共施設について調べ、わかったことを発表し合う。 ・千葉市にたくさんの公共施設が集まっている。
	9	○市の古くから残る建物について調べ、わかったことを発表し合う。
ま と め る	10 11	○これまでに調べたことをもとに、千葉市の特色や良さについて話し合う。
い か す	12 13	○学習してきたことを生かして千葉市の地図を作成する。

## 7. 視点について

### 視点1 情報活用の実践力

#### ○複数の資料を同時に扱うことによる情報活用能力の育成

本時は、今まで活用してきた資料を統合し、総合的な視点から千葉市の土地の様子について読み取れることをねらいとしている。子供達は、今までに「土地の高さ」「交通の様子」「土地の使われ方」について、1つ1つの資料からの読み取りを行ってきた。そこで、子供達に今までの資料から共通していることは何か問いかけ複数の資料を重ねるといふ視点を持たせたい。今まで扱ってきた資料を同時に提示し、子供達は自分の興味関心をもとに資料を重ねる。6枚の資料を同時に扱うため、最大で15通りの組み合わせをすることができる。課題に応じて資料を取捨選択し、必要な情報を集めたり、考えたり、表現する学習活動を通して、情報活用能力が育まれるだろう。また、1つ1つの資料から点で分かっていたことを、複数の資料を重ね、線としてつなげることで、より千葉市の土地の様子についての気づきが深まると考える。

#### ○資料を重ねることによる気づきの深まり

本時では、「土地の高さ」や「交通の様子」「土地の使われ方」それぞれがどのように関係しているかを気付かせることをねらいとしている。そこで、本時に扱う資料6枚をWebサービスから、画像を半透明に加工して子供に提示する。今まで資料同士を横や縦に並べて読み取りを行っていたことを、資料を重ねることで、広がりや違いを効果的に読み取ることが出来るようになると思う。

#### ○「発表ノート」を扱うことによる効果的な資料の使用

本時で扱うSKYMENUのアプリケーション「発表ノート」では、子供達が自由に資料を出し入れしたり、書き込むといった活動ができる。課題を解決するために、様々な資料を重ねる際に、「土地の高さ」と「交通の様子」「土地の高さ」と「住宅の集まっていると

ころ」のように、同じ資料を同時に2つ以上出すこともできるため、より詳しい見方をしながら資料の読み取りができるだろう。また、自分で読み取りたいことを考え、子供たちが自ら資料を選択することの出来る良さも味わわせることができるだろう。

## 8. 本時の目標

### ①教科の目標

必要な情報を集め、読み取り、市の土地の様子について理解することができる  
(知識・技能)

### ②ICT活用を通じて付けさせたい力

○課題や目的に応じて必要な資料を選択し、主体的に情報を収集・判断・表現・処理することができる能力  
(情報活用の実践力)

## 9. 展開 (7/13)

学習内容	○教師の支援 ◇評価 ◆付けさせたい力
<p>1. 前時の振り返りから、本時の学習のめあてを確認する。</p>	<p>・今までに発表ノートで扱った資料を見返させることで、前時までの学習を振り返ることができるようにする。</p>
<p><b>資料を重ねると、どのようなことがわかるだろう。</b></p>	
<p>2. どのように資料を重ねると良いか見通しをもつ。 ・店と住宅を重ねてみたいです。 ・土地の高さと田や畑を重ねたい。 ・交通の様子と住宅の集まりはどうなっているかな。</p>	<p>・重ね方の例を板書し、資料の多さから自力解決に戸惑う児童への支援とする。</p>
<p>3. 発表ノートの資料置き場から、「土地の高さ」「交通の様子」「土地の使い方」を重ねて、気付いたことをまとめる。 ・店の集まっている所と交通の様子を重ねたら、駅の周りに集まっている。 ・土地の高さと住宅の集まっているところを重ねたら、低い所に集まっているぞ。</p>	<p>・資料を重ねたことで気が付いた箇所は発表ノートに印をつけさせ、考えたことはノートに書くように声をかける。 ・効果的に資料を選択したり、配置したりすることが出来ている児童のノートを全体に共有し、自力解決の手助けとする。 ◆課題や目的に応じて必要な資料を選択し、主体的に情報を収集・判断・表現・処理することができる能力 (情報活用の実践力)</p>
<p>4. 複数の資料を重ねて気付いたことを全体で共有する。 ・「土地の高さ」の資料と「交通の様子」の資料を重ねたことで、低い土地に電車が多く通っていることが分かった。 ・「交通の様子」と「店」の資料から、線路が多く集まっているところに店が集まっていることが分かった。</p>	<p>◇必要な情報を集め、読み取り、市の土地利用について理解することができる (知識・技能)</p> <p>・発表する児童の画面を大型テレビに提示し、全体に共有する。 ・重ね方によって分かったことを板書する。 ・板書のこと～</p>
<p>5. 本時のまとめをする。</p>	<p>・自分の気付きや友達の意見から、千葉市の土地の様子についてどのようなことが言えるか ま</p>

	とめるようにする。
資料を重ねることで、土地の様子についてよりくわしく分かるようになる。	
6. 次時の活動を確認する。	・公共施設という言葉を知らせ、千葉市のどのようなどころにあるか調べることを知らせる。